

夫大辯才天女、閻魔大王乃長姉に、諸天女中最勝龍神夜  
又衆乃中に、咸く上首とあり、(世に)欲界の諸天宮と獨り  
天女の最尊く御座まが故、至心に歸命し奉る者ハ福德智慧  
諸乃功德を成就して、心中の諸願満足せむと云く、  
寶林山養國禪寺、大辯才天女ハ江戸百社乃内、昔年鳳城の  
西麻布の青柳玄壽乃祖壽阿彌とく、一年頃天女信仰に  
深く心を傾け侍り、或時思立て箱根の温泉小湯治に  
侍り歸るに、江嶋天女宮小參籠して、夜半過る、暫睡中に  
くけくも畏き御神託を蒙り、覺く夢をさめて見侍  
まば寶前小白蛇の幡を、ひん感得し奉り、これを最尊くて

拜き念誦を、明くゆめん待て、其日に歸宅し侍り、  
夫より家内不安置して、日に恭敬奉り、程とれく畏き仰事  
蒙り、御同朋小參進侍り、然あり、後と量り驗を  
蒙り、數度有り、又ある夜の夢、此後必我體世人小見  
た、(世に)現れを最畏し、則奥乃院弘法大師乃  
御作の尊像、彼白蛇乃尊形を、躰中に納め、杖が養國寺乃  
中に寶殿を造り、安置し奉る所也、信心の筆歩運とのを、  
諸乃願事成就せむとあり、此と樂し、云事と

天明八戊申年六月

四谷北寺町 養國寺